

私の留学体験記

広島県立呉三津田高等学校 2年 稲本 愛花 (いなもと あいか)

留学期間 令和6年3月18日 ~ 令和6年3月29日 (12日間)

留学先 Corona del Mar High School (Newport Beach, America California)

私は今回の短期留学へ参加するにあたって、新たな考えの視点を獲得するという目標を掲げました。グローバル化が進行する社会で世界中のあらゆる人々とながら、次世代を担う人材として協働していくためには多くの視点を持つことが重要だと考えたからです。

現地での生活や授業への参加を通して主に二つのことを学びました。

1つ目は、多様な人々と円滑にコミュニケーションをとる方法です。今回のプログラムに参加する前の私は初対面の人と接する際、自己開示をしたり意見を明確に述べたりすることを躊躇う場面が多々ありました。しかし、ホストファミリーや現地の学校でできた友人などが自らを紹介してくれたり、初対面の相手から自己紹介をして握手をしたりするなどの言動によって、自分の中にあった障壁を取り除くことができました。趣味やスポーツなどの共通の話題を見つけることで、「自分から」という意識をもって話しかけ、会話を弾ませることもできました。

また、一度話した生徒にはそれ以降学校内で会った際に声をかけたり手を振ったりするよう心がけました。そうすることで、男女や年齢に関係なく幅広い交友関係を築くことができました。

2つ目は、積極的な姿勢の重要性です。以前は自らの意見を大勢の前で述べる際など、他者からの見え方を過度に気にして前へと進めないことがよくありました。積極的な発言等によってマイノリティになることを恐れていました。日本はアメリカに比べ、コミュニティや国内に存在する宗教や民族の数が少なく、全体的に見ると比較的画一化された社会であると思います。このことが積極性に欠ける原因のひとつなのではないかと考えます。しかし、私は現地の授業で、生徒一人ひとりが主体的な姿勢で疑問点をすぐに尋ねたり、意見を述べたりする姿勢を目にしました。更には、授業内で生徒間だけでなく生徒と教師が対話をする場面が多いと感じました。このことから、皆が積極的な姿勢で取り組むことのできる環境を作りあげているものは個の多様性を認め、マイノリティにも十分に配慮し理解する人々の姿勢であると考えます。あらゆる宗教、文化、価値観などをもつ人々と日常から関わるのが当然の彼らのそのような姿勢は、異文化理解や多様な人と交流をする上で非常に重要であり、私たちが学ぶべき点が多くあると思います。

以上の2つの気づきから、新たな考えの視点を得るためにはやはり、他国を訪れ、多くの気づきを得ることが大切だと感じました。現地で人々やその暮らし方、食事などの多くの物事に触れることで、現地の文化や生き方、考え方の特徴や魅力だけでなく自身のそれらについて新たな角度から捉え直すことができると考えます。このことは、自己をしっかりと認識

するという点において不可欠であり、今後の生き方をより良いものへと変える結果につながると思います。多様性という言葉が日常から頻りに耳にする現在、私たちは自らと同じ価値観や考えをもつ人のみと交流するだけではグローバルな生き方はできません。今回の短期留学で私が学び得たコミュニケーションのとり方や積極的な姿勢の重要性も、現地での様々な体験がなければ新たな気づきや自身の態度、心構えに変化はなかったと思います。多様性について肌で感じ、理解し、彼らと協働して次世代を担うことの意義も理解することができました。今後の人生において、これらの経験から得ることのできた、他を深く理解することのできる考えの視点、考えの多様性を常に重要視してグローバルにつながり合うことを意識したいです。